

富山県合唱連盟

tutti

第67号 2021年4月1日
富山県合唱連盟

事務局
北日本新聞社事業局内
〒930-8680 富山市安住町2番14号
TEL (076) 445-3355
FAX (076) 431-1924
発行人 中井隆司

“第九の灯”消さない

北日本新聞社
事業局次長事業部長 岡田 敬介

世界を大混乱に陥れている新型コロナウイルス。この見えない敵との戦いはいつになったら終息するのか、まだまだ不透明な状態が続いています。

2020年、新型コロナ感染予防のために国内外でイベントが次々に中止となりました。北日本新聞社でも20年春～夏に計画していた、ミュージカルや歌舞伎などの舞台公演、展覧会、スポーツ事業など多くのイベントが開催できませんでした。

各地で夏ごろから感染予防の対策を徹底して少しずつイベントを再開していこうという機運が高まり、当社主催事業においても開催可否の検討、準備作業を進めました。その結果、一部の展覧会などは再開できたのですが、「第九」については社内で協議を重ねた上で、富山県合唱連盟と話し合い、中止の決定をしました。約300人ももの合唱団による練習、楽屋・ステージでのソーシャルディスタンス確保など課題は多く、参加者の安全を第一に考えた結果です。

第九は前年に第55回の大きな節目の演奏会を開催し、新たな一歩を踏み出そうとしたところ。中止は苦渋の決断でした。

東京交響楽団の金山茂人最高顧問は富山の第九について「市民の合唱団による第九としては規模、歴史とも国内随一だろう」と仰っておられます。地域にすっかり定着し、年の瀬の富山の風物詩ともいわれています。この大切な富山の第九の灯を消さず、次の世代に受け継いでもらうことが、現在コロナ禍の中で第九に携わる私たちの使命だと思っています。

富山県合唱連盟の皆さまとともに晴れやかな気持ちで第九を開催できる日が早く来ることを願っています。

コロナ禍での合唱団「活動情報」

♪女声合唱団「クール・クローア」

他の皆様も同様だと思いますが、我々も病禍に細心の注意を払い、万全を期して練習をしています。状況を見て暫くのお休みを取り込んだりまた再開したり。

来年は、女声合唱団「クール・クローア」創立40年を迎えます。私たちの集大成を皆様に聴いていただきたく、更に磨きをかけるべく練習を積んでおります。世界が落ち着くことを祈りつつ、その際には是非皆様にもお越しいただきますようお願い申し上げます。

♪合唱団おおさわの

合唱団の練習は3密防止を徹底し、団員手作りの合唱用マスクで行っています。団員同士の間隔が離れているため声を合わせることに不安や難しさはありますが、歌う楽しさ、歌える喜びを改めて感じております。

演奏会は8月29日(日)大久保ふれあいセンターで開催予定です。安全が最優先であることは言うまでもありませんが、工夫次第で歌うことや音楽を伝えることはできると前向きに捉え、練習を重ねていきたいと思っております。

♪男声合唱団K&クルー

去年は、新型コロナウイルスの影響で、練習の中止と再開を繰り返すこととなり、十分な練習もできず、演奏会も中止しました。練習場所については、これまでは保育園をお借りしていましたが、園児や職員の皆様への感染防止の観点から、教会へと変更しました。

今年も年初から練習を中止していましたが、新型コロナウイルスが少し落ち着いてきたことから、3月より週1回1時間半の練習を再開することとしました。11月開催予定の演奏会に向け、団員一丸となって頑張っていく所存です。

♪新湊合唱クラブ

現在の新湊合唱クラブの活動はコロナの流行に左右されています。流行してくると練習を休み、収まってくると再開するという状態。練習場所も密を避け、ロビー等広い場所に変更して合唱連盟のガイドラインを守りながら練習しています。それでも感染が心配で欠席される方もおられます。合唱の練習やカラオケでクラスターが発生したことを考えると、ある意味仕方ないことだと思いますが、団員のモチベーションを保つのが大変です。

その中で昨年、無観客での高周波文化ホールでロビーコンサートを開催し、射水ケーブルネットで放映していただきました。発表の機会を提供していただいた関係の

方々には大変感謝しております。最近ワクチン接種が始まりましたが、効果はすぐには出ません。合唱連盟の行事も感染対策を第一に行っていたいただきたいと思います。

♪とやま女声アンサンブル「きらめき」

新型コロナウイルスの影響を受け暫く練習は控えていましたが、昨年12月によりやく再開することができました。現在は月に1度のペースで集まっています。勤務先の制約などがあり、練習に参加できないメンバーがいることと、練習場所の確保が難しいこともあり、練習があまりできていません。演奏会の予定は現在ありませんが、集まらない分、各自で練習を行い演奏会に備えたいと思います。

♪富山中部高等学校コーラス部

令和3年7月27日(火)富山県教育文化会館ホールに於いて、第58回コンサートの開催を予定しています。

今年も創作ミュージカルやNコンでの課題曲・自由曲等の演奏を予定しています。練習時間も短縮され、今まで通りの活動とは違う環境ですが、各曲の良さを最大限に引き出せるよう取り組んでいきたいと思っております。

♪高岡高等学校合唱部

現在、合唱部の活動は、マスクをつけ、間隔を保ちながら時間を短縮して行っています。歌うときにマスクで口元が見えないため、お互いの表情を確認できませんが、その分温かい言葉を掛け合いながら練習しています。

昨年、中止した第15回富山県立高岡高等学校合唱部コーラス・コンサートも、感染防止対策をして令和3年5月29日(土)14時30分から高岡文化ホールで開催する予定です。

♪花水木会

花水木会第27回コンサートは、令和3年2月27日(土)富山市民プラザアンサンブルホールに於いて開催しました。

今回は、舞台上での同時発声は7人というルールの下で演奏いたしました。

コロナ禍ということで、コンサートの開催には、指導者である水木ようこにもメンバーにも「勇気」が必要でした。しかしウイルス感染防止策を十分に取り、お客様のご理解ご協力を得られた時にはコンサートが開催できることが証明できたように思います。7人ずつで1曲を歌い継ぐ初めての取り組みは、今後に希望が持てるものになりました。

編集後記

「苦節十年」。十年前の三月十一日、東日本大震災その時刻、私は富山に戻る為、羽田空港のロビーにいました。今まで体験したことのない強い揺れを感じ、人々のどよめきと共に緊急地震速報を告げるアナウンスが響きました。間もなく巨大津波による濁流に、家屋、車、橋、人々が呑み込まれていく映像がTVに流れたのです。自然の前では人間の力は「無」に等しいのでしょうか。言い様のない空しさ、恐怖に心が苦しくなった事を今も忘れることが出来ません。

あれから十年の歳月が流れた今、コロナ禍に世界中が揺れ動いています。一瞬にして当り前の日常が失われ、人と人との絆の担い手である筈の合唱界も影を落とすし、今なお暗中模索の日々が続いています。

誰もが不安を抱えながらこの一年を過ごしてまいりました。

一日も早く心に響く音楽を、躍動する合唱連盟の姿を、皆様の元にお届けできることを願います。

皆様のご協力をいただき、紙面減ながらも令和二年度最後の「tutti」を発行することが出来ました。感謝申し上げます。

☆お願い☆
残念ながら、今年度はコロナ禍により各演奏会の中止が続きました。この状況を鑑み、2020年特集号Vol.23「合唱の軌跡」は来年度に併載させていただきます事といたしました。ご理解いただきますようお願いいたします。

広報部部長 牧野 洋子
副部長 本多 以都子
副部長 宮本 幸江